

プールサイドの必需品！ 救命処置の手順が 誰でもわかる！

安心の
掲載内容

丈夫な
ターポリン製

視認性の
良いデザイン



プールで行う救命処置の手順

溺れた友だちを発見！

落ち着いて、みんなで協力しよう！

- 先生を呼ぶ**
先生、きてください！
大きな声で
- 先生がプールサイドに引き上げ、反応を確認する**
声をかける
だじょうぶ？
胸をたたく
- 応答をたのむ**
AEDを持ってきてください！
救急車をよぶ・AEDをたのむ
119番をおねがいします！！
- 呼吸の確認**
胸とお腹は動いているかな？
「呼吸がふだんとちがう」と判断したら、5へ
- 胸骨圧迫（心臓マッサージ）**
「強く」「速く」「絶え間なく」
ひじをのばす
この部分でおす位置
5cmくらい胸がしずむ強さです
1分間に100-120回
つかれる前に、まわりの人と交代しながら続けよう！
胸骨をたたく
- AEDを使う**
パッドをはる時も、できるかぎり胸骨圧迫を続けましょう！

- 電源を入れます。
音声の指示が始まります。
- 電極パッドを体にはります。
皮膚の水分をふきとって
- AEDが「はなれてください」といったら、胸骨圧迫をやめてはなれます。
はなれて！さわっちゃだめだよ！
- AEDの指示にしたがい、ショックボタンをおします。
感電に注意！
感電しないよう、裸れている人からしっかりはなれる
- 電気ショックのあとは、胸骨圧迫を続けます。
AEDの電源は切らず、パッドをはがさない

救急隊に交代するまで
5・6を諦めずに
繰り返しましょう！
〈監修／協力〉
公益財団法人日本AED財団
©Sanwa Manufacturing Co., Ltd.

公益財団法人 日本AED財団 監修

プールサイド用 AED使用手順パネル



※画像はイメージです

いざという時、

焦らず救命処置が出来るように

日本スポーツ振興センターの統計によると※、学校の管理下における水泳中の死亡事故では25件の死亡事故、29件の障がいが残る事故が起きています。万が一事故が起きた時にできることを、誰もがわかるようにしておくことが大切です。

※学校における水泳事故防止必携〔2018年改訂版〕参照



わかりやすいイラストで救命処置の流れを図説！

安心の掲載内容

- JRC蘇生ガイドライン 2020準拠
- 公益財団法人 日本AED財団 監修

丈夫な素材

- 厚手で耐水性のあるターボリン製
- 雨に濡れてもOK！ 野外に設置できます

視認性の良いデザイン

- 気を付けるポイントを目立つように表記
- 子どもたちにも伝わりやすいイラスト



ヒモや
結束バンドを
通せるハトメ付き

プールサイドで児童・生徒が
良く見える位置に掲示してお
使いください。

プールサイド用
AED使用手順パネル

910-425 ¥34,800 (税込¥38,280)

【サイズ】縦90×180cm【材質】ターボリン
【付属品】リリースタイ12本

■製品は改良のため、予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。
■写真及び印刷の仕上がり上、現品と色合いが若干異なる場合がございます。
■商品のサイズ、質量などは全て（約）の値です。
■このカタログは、2023年6月現在のものです。 [10510]

sanwa

株式会社 三和製作所

〒132-0021 東京都江戸川区中央 4-11-8
tel.03-5607-7811(代) fax.03-5607-7812
<https://www.sanwa303.co.jp>

健康をサポートするお近くの代理店